

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-172679

(43)公開日 平成8年(1996)7月2日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 Q 9/00

G 1 1 B 31/00

識別記号

3 0 1 E

号 厅内整理番号

E
P 9463-5D

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平6-313581

(22) 出願日

平成6年(1994)12月16日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 平澤 孝之

東京都品川区西五反田 3-9-17 東洋ビル

ソニーエンジニアリング株式会社内

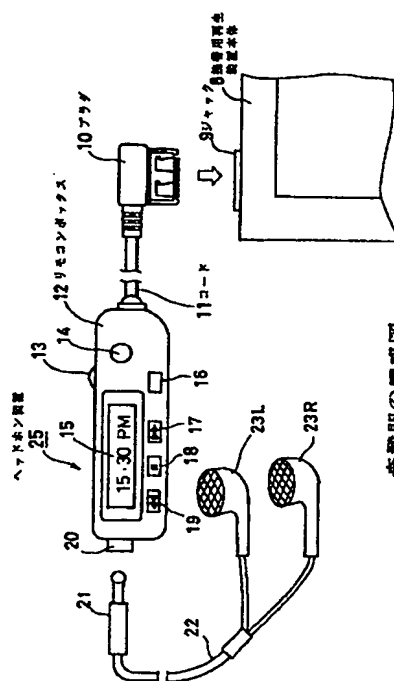
(74) 代理人 弁理士 松隈 秀盛

(54) 【発明の名称】 受話装置

(57) 【要約】

【目的】 受話装置（ヘッドホン装置）側にタイマー及びアラーム機能を付加してタイマー及びアラーム機能のない携帯用再生装置（カセットテープレコーダ等）をタイマー及びアラーム機能付にグレードアップさせる。

【構成】 ヘッドホン装置 25 をヘッドホン 23 L 及び 23 R 及びリモコンボックス 12 で構成し、リモコンボックス 12 内にクロック IC 27 を組み込む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯用再生装置に接続して、音響信号を再生する様に成された受話装置に於いて、

上記受話装置内にアラーム機能を付加し、アラーム時刻設定時に報知可能と成したことを特徴とする受話装置。

【請求項2】 前記アラーム機能は音声合成によるアナウンスによって報知して成ることを特徴とする請求項1記載の受話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はイヤホン或はヘッドホン等の受話装置に係り、特に受話装置の遠隔制御用筐体（リモコンボックス）内にタイマー機能を内蔵させる様に成した受話装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来から携帯用再生装置等で所定の設定時刻にアラーム音声がかえる様に成したものは、例えば、特開平1-245483号公報等に開示されて公知である。

【0003】 即ち、上述の公報の構成は図5に示されるように、携帯用再生装置であるテープレコーダ等の再生部本体1から出力される再生音信号は図示の切換状態にあるスイッチ回路2、アッテネータ回路3、増幅回路4及び出力端子5を介して、図示しないヘッドホンまたはイヤホン等に供給され、音声再生が行なわれる。

【0004】 ここで、上記スイッチ回路2は、タイマー回路6から出力される切換信号によって図示と逆の位置に切換えられる。このタイマー回路6は、例えば使用者が所望の時刻や15分おき30分おき1時間おき等の時刻設定が可能で、その設定時刻になると一定時間30 切換信号を発生する機能を有している。

【0005】 そして、タイマー回路6から出力される切換信号によって、スイッチ回路2が図示と逆の位置に切換えられると、再生部本体1から出力される音声再生信号に代えて、アラーム信号発生回路7から出力されるアラーム信号が、スイッチ回路2、アッテネータ回路3、増幅回路4及び出力端子5を介して、上記ヘッドホンまたはイヤホン等に供給する様にして周囲の環境変化や時間の経過等を認識可能としている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 上述の従来構成で説明した携帯用再生装置の構成では、この様なアラーム機能の付加された機種 of 携帯用再生装置を持っていない人はアラーム機能を利用出来ない問題があった。

【0007】 本発明は、上述の問題点を解消するもので、その目的は既にアラーム機能の付加されていない携帯用再生装置を購入した人でもイヤホン或はヘッドホン等の受話装置（以下ヘッドホンと記す）を購入するだけでタイマー機能設定が出来るヘッドホンを提供するにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明のヘッドホン装置はその例が図1に示されている様に携帯用再生装置8に接続して、音響信号を再生する様に成された受話装置25に於いて、受話装置25内にアラーム機能を付加し、アラーム時刻設定時に報知可能と成したものである。

【0009】

【作用】 本発明のヘッドホン装置はタイマー機能を付加したIC回路をリモコンボックスに内蔵させているので、通常の再生、停止、音量調整等の機能と共にタイマー設定及び設定音をタイマー機能の付加されていない携帯用再生装置においても聴取可能と成る。

【0010】

【実施例】 以下、本発明のヘッドホン装置を図1乃至図4によって詳記する。図1は本発明の一実施例を説明するためのヘッドホン装置の構成図であり、図2は図1のリモコンボックス内の系統図である。

【0011】 図1で8は携帯用再生装置としてのCD再生装置、カセットテープレコーダ或はMD（ミニディスク）記録再生装置等であり、多極ピン用のジャック9が設けられ、このジャック9は本体8内に設けられた再生、停止、巻戻し、早送り、音量調整等の機能をヘッドホン装置25側のリモコンボックス12側から遠隔制御出来る様に成すと共にLCD表示装置15への各種動作情報の表示並びにアラーム機能等の設定、聴取等の授受を行なうためのもので、ヘッドホン装置25側の多極ピン用のプラグ10が差し込まれる。

【0012】 ヘッドホン装置25はリモコンボックス12と、該リモコンボックス12から導出されたコード11を介して、その先端に取り付けられた多極ピン用プラグ10と、該リモコンボックス12に配設したジャック20に着脱自在と成された左右のイヤホン或はヘッドホン23L及び23Rとより成り、ヘッドホン23L及び23Rはコード22を介してプラグ21に接続されている。

【0013】 リモコンボックス12にはLCD表示装置15及びボリューム用つまみ13や、再生、一時停止、早送り、巻戻し、停止等の機能を実行させるための操作釦17、18、19等を有し、早送り、巻戻し釦17及び19はアップ及びダウン釦と兼用されている。

【0014】 16はモード釦で時間、分等のLCD表示装置15に表示された設定時刻等の切替を行なうものであり、14はプッシュ型と成され、この釦を押圧すると、時刻を言葉で伝える様に成されている。

【0015】 図2は図1で説明したリモコンボックス12内の系統図であり、LCD表示装置15はLCDドライバIC（例えばソニー製MSM6546）26で駆動表示される。このLCDドライバIC26は音声合成回路を含むクロックIC（例えばソニー製μPD49909）27は接続されている。クロックIC27は釦電池

3

28で常時駆動されている。スイッチSW₁は図1に示す時刻設定釦16や時刻を言葉で伝えるプッシュ釦16等を含んでいる。又、スイッチSW₂はホールドスイッチで携帯用再生装置の再生、ポーズ等の各種のファンクションキーをリモートコントロールするための機能動作状態にするか、データの授受や再生聴取等の機能動作にするか等を切り換えるためのもので、LCDドライバICと接地間に介在されている。

【0016】更に、SW₄は再生、ポーズ、兼用釦18のスイッチ、SW₅は早送り釦17用のスイッチ、SW₆は巻戻し釦19用のスイッチ、SW₇はボリューム摘み等と兼用された停止スイッチ等のファンクション釦群SW₄～SW₇を示し、可動片側は互いに並列接続され、スイッチSW₂を介して接地電位に落とされる様になされている。又、ファンクション釦群SW₄～SW₇の各固定接点側間は抵抗R₅、R₆、R₇が接続されて、多極ピンプラグのリモート端子ピンに接続されている。

【0017】時計機能及びアラーム機能を有するクロックIC27の出力はヘッドホン装置25のリモコンボックス12に取り付けられたジャック20の接片に抵抗R₁及びR₂を介して接続されると共に、本体側のジャック9に接続されるプラグ10の左右チャンネルピンR_{CH}及びL_{CH}に抵抗R₃及びR₄を介して接続され、ジャック20のコモン端子20は同じく多極プラグ10のコモン端子に接続されている。

【0018】LCDドライバIC26の出力端は多極プラグ10のシリアルクロック端子(SCLK)、データ(DATA)等へ供給され、オプション端子(OPTION)はスイッチSW₃を介してオプション用信号源等に接続され、接地(GND)は接地電位に接続されている。

【0019】上述の図2に示すアラーム機能は音声合成ユニットとして音声で時刻を知らせたり、LCD表示装置15に時刻表示を行なう様に成したクロックICをリモコンボックス12に内蔵させてあるので、携帯用再生装置8内にタイマー機能及びアラーム機能を持たないモデルであっても、リモコンボックス12に設けたプッシュ用の釦14を押圧することで、例えば音声合成で時刻放音が行なわれ、満員電車等で時計をみる事が出来ない時や冬場の厚着の時など極めて便利に利用可能となる。

【0020】この様なタイマー機能をヘッドホン装置のヘッドホンのリモコンボックス内に配設することで、タイマー機能やアラーム機能を持たない機種に対してもヘッドホンを通して設定時刻にアラーム音が聞けるので、時間の経過を簡単に知らせることが可能となるだけでなくタイマー再生機能として聞きたい時間に携帯用再生装置を再生状態にすることが出来る様に成し得る。

4

【0021】上述の図1及び図2に示す構成ではプラグ10として多極ピンを用いたリモコン装置とし、本体8とリモコンボックス12間でデータの授受を行なってLCD表示器15に各種データ表示が可能とされた機種について説明したが図4に示す様な4極ピン構造のプラグ10A及びジャックが用いられる構成の携帯用再生装置(カセットテープレコーダ等)では各種データをリモコンボックス12内のLCD表示器15に表示出来ない。即ち、プラグ10Aは左右チャンネルL_{CH}及びR_{CH}と共通接片(COM)並びにコントロール接片(CONT)のみしか持たないのでこれらの機種に対応させるためには図3に示す様なクロックIC27及びLCDドライバIC26をリモコンボックス14内に組み込み、クロックIC27の出力をヘッドホン23L及び23Rに接続させると共にプラグ10Aの左右チャンネルL_{CH}及びR_{CH}に接続し、ファンクション釦群SW₄～SW₇の並列接続された接片側を+B電源に接続し、固定接点側を抵抗R₅～R₇を介して4極プラグ10Aのコントロール接点(CONT)に接続する様なにせばタイマー及びアラーム機能の付加が可能となるのがLCD表示器15に表示されるものは時間系のみとなる。この様な構成に於いてもカセットテープレコーダ等の再生信号聴取時にセット時刻のアラーム音を聴いたり、タイマー再生を行なうことが出来る機種にグレードアップ可能となる。

【0022】

【発明の効果】本発明のヘッドホン装置によればアラーム機能、タイマー機能のない携帯用再生装置をヘッドホン装置を差し変えるのみでタイマー機能及びアラーム機能付の機種にグレードアップ出来て、再生信号聴取時にセット時刻のアラームを聴くことが出来るものが得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は本発明の受話装置(ヘッドホン装置)の一実施例を示す構成図である。

【図2】図2は図1のヘッドホン装置内に組み込まれるアラーム及びクロック機能用ICの系統図である。

【図3】図3は本発明のヘッドホン装置の他の実施例を示す構成図である。

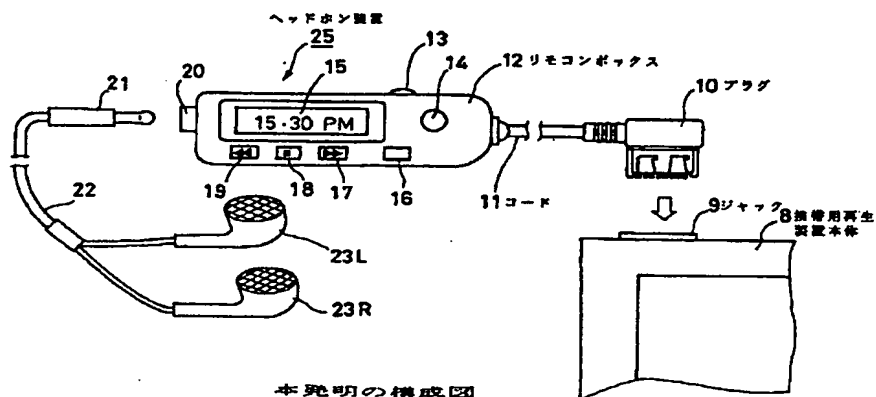
【図4】図4は図3のヘッドホン装置の構成図である。

【図5】図5は従来の再生装置の系統図である。

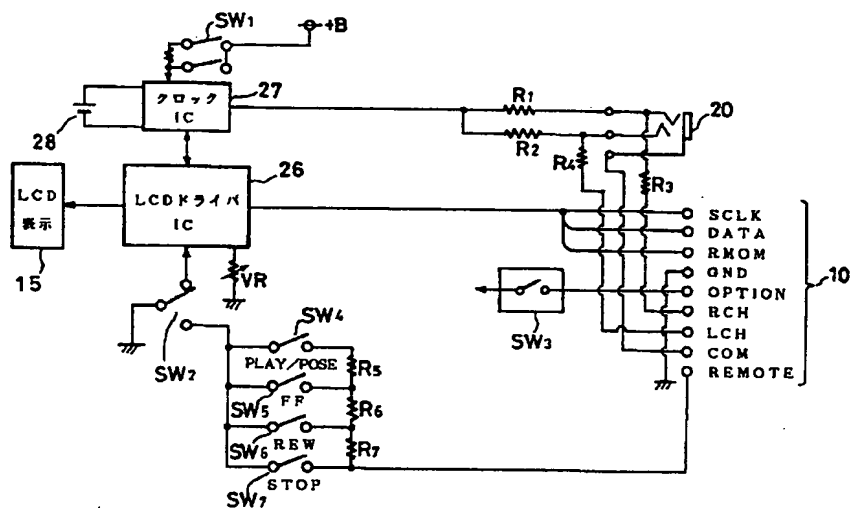
【符号の説明】

- 6 タイマー回路
- 8 携帯用再生装置本体
- 10 多極ピンプラグ
- 12 リモコンボックス
- 23L、23R ヘッドホン
- 25 ヘッドホン装置
- 26 LCDドライバIC
- 27 クロックIC

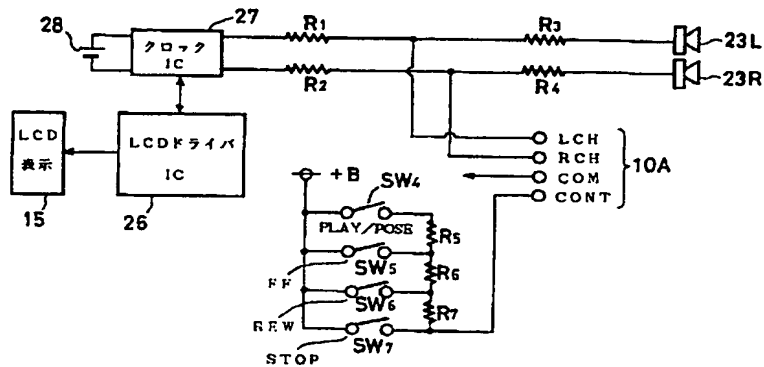
【図1】



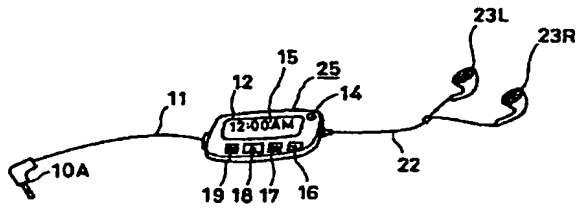
【図2】



【図3】

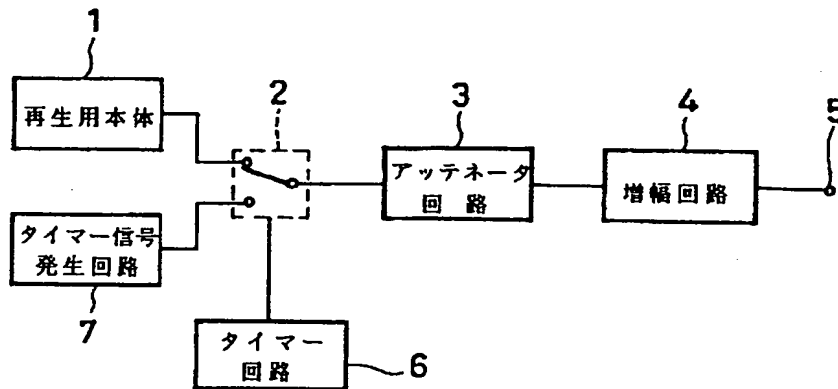


【図4】



本発明の他の構成図

【図5】



従来の再生装置の系統図

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-172679

(43)Date of publication of application : 02.07.1996

(51)Int.Cl.

H04Q 9/00
G11B 31/00

(21)Application number : 06-313581

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 16.12.1994

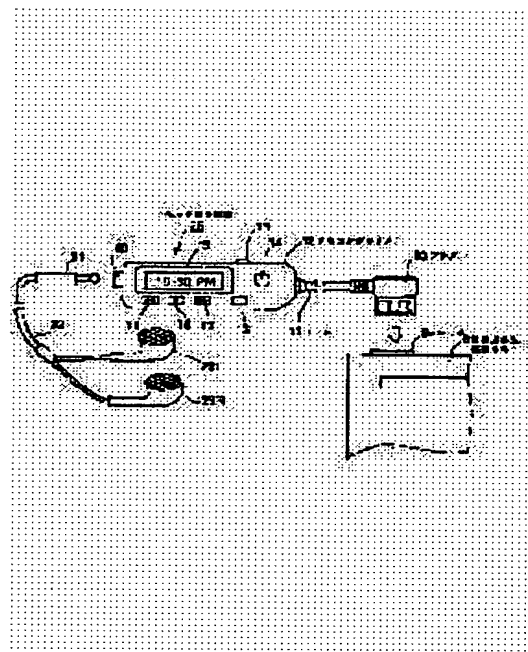
(72)Inventor : HIRASAWA TAKAYUKI

(54) SPEECH RECEIVER

(57)Abstract:

PURPOSE: To grade up the type of machine capable of listening to the alarm of set time when a reproduced signal is listened by adding an alarm function on a speech receiver and informing alarm time when it is set.

CONSTITUTION: A headphone 25 consists of a remote control box 12 and right and left earphones or headphones 23L, 23R arranged on the remote control box 12 and set on a jack 20 freely loaded/unloaded and the headphones 23L, 23R are connected to a plug 21 via a cord 22. The output of a clock IC 27 provided with a clock function and the alarm function is connected to the contact piece of the jack 20 mounted on the remote control box 12, and also, connected to a multipolar plug 10 connected to a jack 9 on a main body side, and a terminal 20 is connected to the common terminal of the multipolar plug 10. The alarm function works by depressing a push button 14. for example, in such a way that a time can be vocalized by performing voice synthesis.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

15.06.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]